



● 海外との仕事が増えると...

ここところ国外の技術者と英文の電子メールでやりとりする必要が増え、自分の英語能力について、科学技術用語の綴りはなはだ心もとないと感じる。用語をカタカナで覚えているので、l と r、-er と -or や tt、ll などの連字、ひどいときは、s/z か th などまで調べないとならない。しゃべるだけなら、これらの欠点はバレずにすむことが多い。

「綴りなどはスペル・チェックに任せればよい。アメリカ人だって正書法はからきしだめでまちがいだらけだ」という意見もあるが、顔を合わせての打ち合わせのときは、白板にマジックで書かねばならない。日本語とカタカナだけで事足りた 1980 年ごろまでの情況がつづく懐かしい。今では日本語化された IC のマニュアルや RFC を見るとホッとするが、逆に翻訳に誤りがあるのではないかと不安にもなる。

● 昔は科学技術用語を漢語化した

明治の初期に西欧から電気・機械・化学などの近代科学技術が伝来したとき、明治の学者・技術者はその導入と咀嚼のために、まずは英語・独語でその科学技術を直接理解しようとした。1886 年にできた帝国大学工科大学やそれ以前の工部省工学寮（東京帝国大学になったのは 1897 年、工学部になったのは 1919 年）では、お雇い外人教師が英語や独語で授業をしていた。

しかし、外国語での教育では初等中等教育には向かなかったうえ、多くの職工達にも技術や技能を教える必要があったので、多くの人の努力で科学技術用語の訳語が作られた。当然ながら大和言葉では表現できない内容だったので、造語能力に優れた漢語を用いて、現在でも普通に使っている「電圧・電流・電源・電話」などの用語が作成された。

お隣の清国でも近代化の必要から漢字による科学技術用語の表現が必須となり、日本で作られたものを多く流用した。そのため、今でもこれらの基礎用語は日中で共通である。

それ以降に導入された用語は、日中で使う文字や使い方に差があり、見ただけでは意味が通じないものが多い。たとえば、「輸入・手帳・情報」などの意味がすぐわかる人は、対中・対台

で仕事をしたことがある人であろう。「電脳」などは香港・台湾で作られた用語が日本に流入した例である。古くは明との御朱印船貿易などで、「暖簾・椅子・行灯・法被」などが文物と共に流入した。伝来の漢字の読み方と違うので、当て字と書いてある辞書も多いが、この読み方は明清時代の発音であろう。

● 科学技術用語はグローバル化した

中国・台湾では増大する科学技術用語に対して、懸命に訳語を作成しているが、日本との間で見られるのと同じ現象が、たとえばマウスは「鼠標・老鼠」など両国間でも発生している。

一方、日本では訳語を作ること自体を諦め、英語などの用語をカタカナで表記することになってしまった。これについては、JIS の用語委員会の怠慢を指摘してもはじまらない。なぜなら、一つ一つの訳語を吟味して決定しては間に合わない速さで、科学技術用語が増大するからである。

現実中国・台湾でもこれら新造の科学技術用語を覚える負担は重い。したがって RAM のことを「隨機存儲器」などと言う技術屋はあまり見かけない。中国語の中で英語の発音で RAM と言ってしまふ。これには中国・台湾での英語教育の普及も後押ししている。

筆者は、韓国の事情はあまり詳しくないが、ハングルの構造上、カタカナと中国での漢字による音訳、たとえば黑客（Heike: Hacker）などとの中間に位置するのかもしれない。

● とりあえず英語で書くのが広がるか？

漢字圏の文化の強みは、自国語で外国の新しい概念を吸収し学習することができることであつたが、この点では日本はロシアなどと同じく英語の技術用語を音訳して自国の発音と文字で理解するようになった。一方、このままでいくと中国・台湾では手間がかかる音訳や翻訳を止めて、英語の科学技術用語を生そのまま使うようになる公算もある。

インドおよび東南アジアやアラビア文字を使う国では、工作上だけでなく科学技術教育もまるまる英語で行われているところが多い。ヘブライ語を復活させ、いろいろな語彙を中国よろしく作成しているイスラエルでも科学技術は英語で教えているようである。フランスは、英語単語の流入を食い止めようと必死になって、仏語化した科学技術用語を作っているが、化学など伝統的にラテン語が強い分野はよいものの、こと情報関係では徒勞に終わっている。

日本語の本文中に英語の単語を直接書き込む文章の書き方は、外資系の会社では義務づけられているところもある。英語で報告文を書くよりは、かなり楽であるし自動翻訳で英文にするときに手間が少ない。

日本人がこれから効率良く学習し仕事を続けていくには、かつて漢字かな混じり文を発明したように、漢字英単語かな混じり文を採用せざるを得ないのではなからうか。（key）



最近日本語がわからなくなってねえ～！